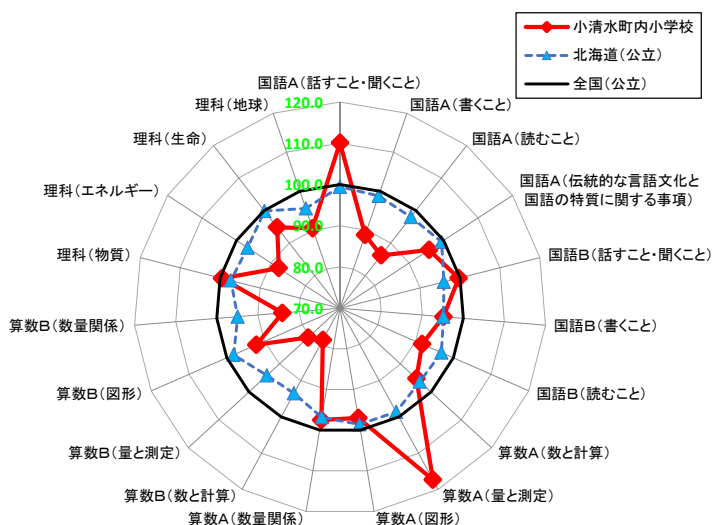


■小清水町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:29人)

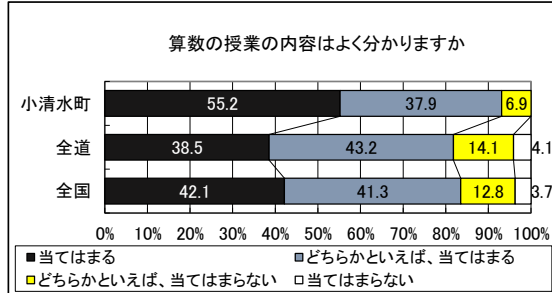
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

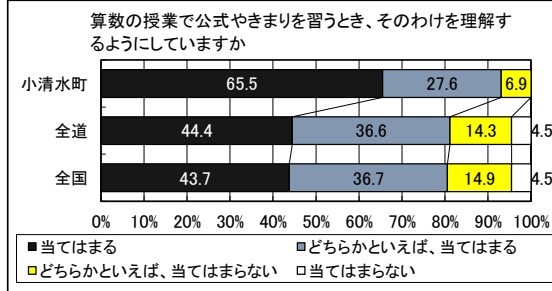
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



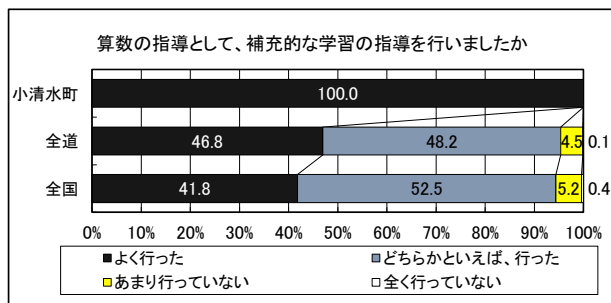
【児童質問紙調査】



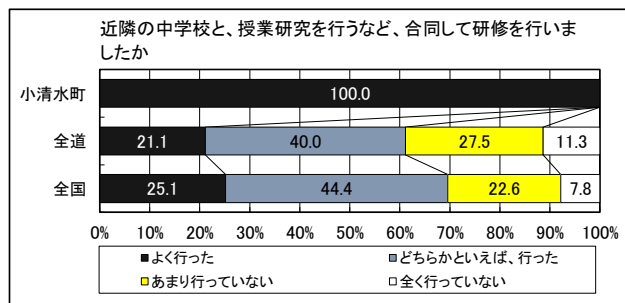
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	- 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 - 算数Aでは、「量と測定」で全国を上回っている。	算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、単元・領域間における学習内容の関連性について理解が深まり、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
児童質問紙	「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行うことにより、算数・数学の系統性を踏まえた授業改善が図られ、児童が計算の意味を理解し目的に応じて用いることができるようになり、「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	- 算数の指導として、補充的な学習の指導を行った。 - 近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。	

【小清水町の学力向上策】

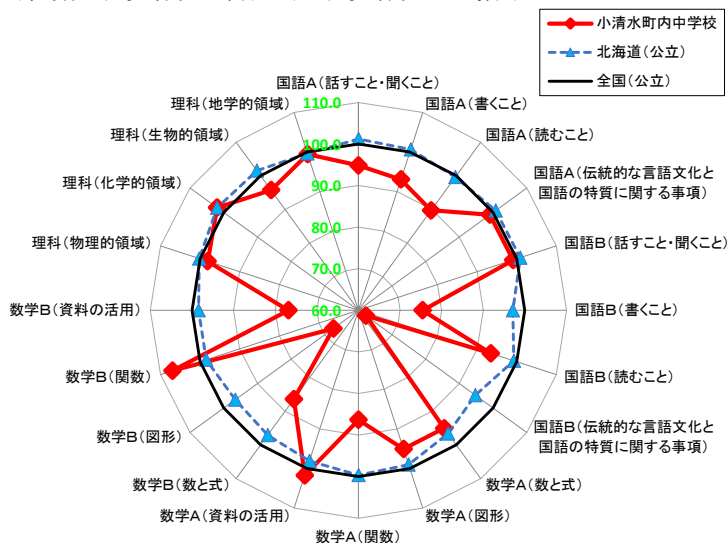
- ◎ 土曜授業の実施による反復学習の時間の確保
- ◎ 小中一貫教育による義務教育9年間を通じた教育課程の編成と系統的な教育を施すための新しい教育づくりの推進
- ◎ 生涯を通じた学習環境の充実や学校・家庭・地域の連携

■小清水町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:36人)

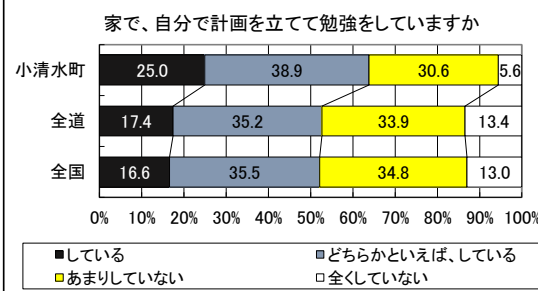
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

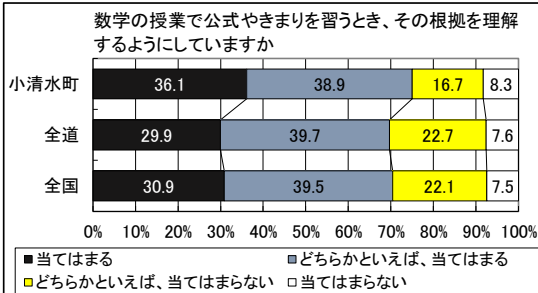
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



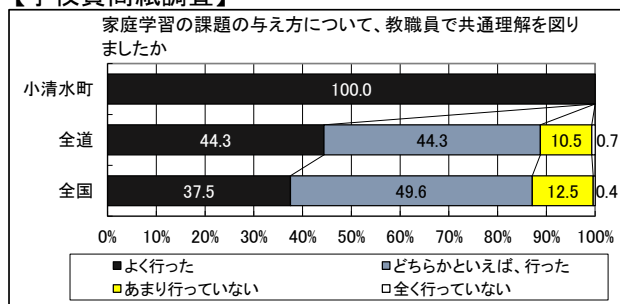
【生徒質問紙調査】



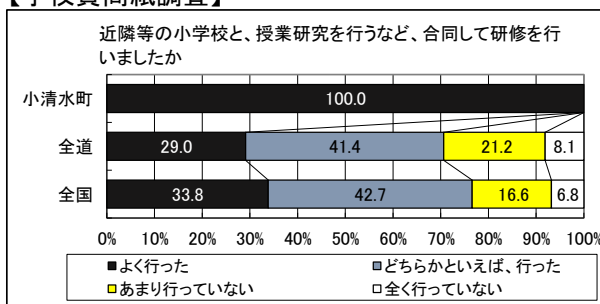
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 数学Aでは、「資料の活用」で、数学Bでは、「関数」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「化学的領域」で全国を上回り、全道と同じである。	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図ったことにより、生徒の家庭学習の習慣が確立し、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行うことにより、算数・数学の系統性を踏まえた授業改善が図られ、生徒が原理・法則等に裏付けられた数学的な処理のよさについて理解し、「数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図った。 ○ 近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。	

【小清水町の学力向上策】

- ◎ 土曜授業の実施による反復学習の時間の確保
- ◎ 小中一貫教育による義務教育9年間を通じた教育課程の編成と系統的な教育を施すための新しい教育づくりの推進
- ◎ 生涯を通じた学習環境の充実や学校・家庭・地域の連携